令和４年度(令和３年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	1-1
PDCA	主要事業名	ミッドランド市姉妹都市提携40周年事業	部課名	企画部秘書課	担当	内田
					内線	216

P 総合計画との関係性と予算根拠

総合計画： 5 － 2 － 1 単位施策： 多文化共生社会

全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 1,922 千円

会計 一般会計 歳出科目 02.01.12.03.55

３か年実施計画（当該年度事業費等）： 3,000 千円

事業概要等

事業概要：	アメリカ・ミッドランド市との姉妹都市提携から40年が経過することを機に、これまでの交流を振り返るとともに、今後の友好関係及び交流活動について確認する。
事業目的：	姉妹都市提携40周年を記念する事業を行うことにより、友好の絆を確認し、さらなる親善を図る。
事業内容：	公式訪問団がそれぞれの市を相互訪問します。また、これまでの交流活動をまとめ、ホームページ等で報告します。
問題点・課題等：	事業に関わる市民が限られる。

予算額

1,922 千円

財源内訳

市費 1,922 千円

国費 0 千円

県費 0 千円

その他 0 千円

主要事業とする理由

長きにわたり友好関係を築いてきたアメリカ・ミッドランド市との交流活動を広く市民に報告し、国際親善を図るため。

得られる成果

友好な関係を築くことで、市民が他の文化を知り、ふれあう機会が増え、国際感覚が醸成される。

目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和２年度	令和３年度	単位
今後の活動について両市が合意し、市民に友好な関係が継続される。	実績値	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-
	実績値				
	目標値				
	実績値				
	目標値				

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

D 得られた成果と実績値

決算額

141 千円

得られた成果

オンライン交流会や記念品交換などの交流を通じて、ミッドランド市との友好な関係を継続しつつ、市民の国際感覚が醸成された。

成果指標		令和３年度	単位
今後の活動について両市が合意し、市民に友好な関係が継続される。	実績値	-	-
	目標値	-	-

C 課題の整理

事業の評価・課題

C

新型コロナウイルスの影響により相互訪問は中止となったが、市内中学生とミッドランド市民でオンライン交流会を実施した。交流会の様子が新聞社等に報道され、市民へ交流活動の様子を周知することができた。
また、両市で姉妹都市提携40周年記念品を作成・交換し、友好の絆を確認できた。
長期化するコロナ禍において、今後の相互訪問の在り方や、定期的な交流方法及び市民への周知方法などを検討していく必要がある。

A 課題解決に向けた今後の方向性

今後の事業の方向性

改善推進

国際交流は対面による交流が主流だったが、このコロナ禍においてその様子は大きく形を変えようとしている。今後も定期的かつ持続的な交流をするとともに、対面による交流ではない別の交流方法（オンライン交流等）を主流に実施していく必要がある。

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある ※手段の変更
②市民ニーズ	－	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	－
③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ある		

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）